

第 6 区

定数 23 名

候補者 23 名

候補者氏名（受付順）

1. 氏名 2. 生年月日 3. 主たる勤務地 4. 経歴 5. 抱負 6. 現職/新任/再任

1. 田中 邦哉 2. 1965/1/12
3. 昭和医科大学藤が丘病院 消化器・一般外科
4. 1989 年横浜市立大学研修医
2007 年横浜市大消化器腫瘍外科准教授
2013 年帝京大学ちば医療センター外科教授
2018 年昭和大学藤が丘病院消化器一般外科教授
2020 年同消化器センター長
2023 年同副院長
5. 1990 年の本会入会以降、専門医試験面接委員、英文機関紙査読委員、選挙管理委員など担当し微力ながら本会発展のため尽力して参りました。代議員に選出頂けましたら本会発展のため益々努力する所存です。
6. 現職

1. 谷合 信彦 2. 1961/12/23
3. 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器外科
4. 1988 年日本医科大学卒業、同大学第 1 外科入局
2005 年同大学講師、2008 年同大学准教授
2018 年同大学武蔵小杉病院消化器外科部長
2019 年同大学消化器外科教授
2020 年同大学武蔵小杉病院院長
5. 大学病院院長、外科部長、さらに川崎市病院協会理事として地域の医療体制の充実、若手外科医育成に勤めてまいります。また、日本腹部救急医学会の理事長として日本外科学会の発展のためご協力する所存であります。
6. 現職

1. 中川 基人 2. 1962/6/6
3. 平塚市民病院
4. 秋田大学卒業、慶應義塾大学外科学教室（一般・消化器外科）入局、医学博士、病院長、外科専門医・指導医、消化器外科専門医・指導医、内視鏡外科技術認定医、救急科専門医、日本外科学会研究奨励賞（2013 年度）
5. 地域の基幹病院勤務医の立場から日本の外科学における診療・教育・研究を見極め、これを高めていくための代議員活動に全力を注ぐ決意であります。併せて適切な医療経済と働き方改革の実践に努める所存でございます。
6. 現職

1. 齋藤 綾 2. 1969/7/22
3. 横浜市立大学外科治療学
4. 横浜市立大学旧第一外科にて外科全般を研修し、2001 年から東京大学胸部外科にて心臓血管外科を専攻いたしました。心臓移植の臨床留学、東邦大学（佐倉）での地域医療の研鑽を経て、現職（主任教授）に至ります。
5. 総合外科の素養の上に成り立つ専門性を磨くことが出来る外科医教育システムを目指します。また、性別や年齢など個々の要因に囚われず多様な人材がより長く外科医人生を謳歌できる環境整備に努めたいと思います。
6. 現職

1. 宮地 鑑 2. 1962/7/2
3. 北里大学医学部心臓血管外科
4. 1987 年 3 月 東京大学医学部医学科卒業
1991 年 6 月 東京大学医学部附属病院胸部外科入局
2003 年 9 月 北里大学医学部専任講師
2010 年 8 月 北里大学医学部心臓血管外科主任教授
現在に至る
5. 日本外科学会邦文誌編集委員として活動して参りました。今後も心臓血管外科専門の代議員として日本外科学会の発展に貢献したいと思います。
6. 現職

1. 伊藤 宏之 2. 1968/3/6
3. 神奈川県立がんセンター呼吸器外科
4. 2005 年（H17）神奈川県立がんセンター呼吸器外科医長
2013 年（H25）呼吸器外科 部長
2024 年（R6）兼任 副院長
5. 引き続き外科学会の発展のため、また後進育成のため、助力してまいります。
6. 現職

1. 内藤 剛 2. 1965/5/23
3. 北里大学医学部下部消化管外科
4. 1990 年 東北大学医学部卒 帯広第一病院研修医
1992 年 東北大学第一外科入局
1995 年 クリーブランドクリニック留学
2017 年 東北大学胃腸外科特命教授
2020 年 北里大学下部消化管外科学主任教授
5. 直腸癌の集学的治療, 特に術前化学放射線療法と低侵襲治療の更なる適応拡大を目指して参ります。また減量・代謝改善手術の安全な普及とエビデンスの構築を目指し, 外科学の発展と後進の指導に全力を尽くします。
6. 現職

1. 澤田 成彦 2. 1969/1/15
3. 昭和医科大学横浜市北部病院
4. 1995 年 徳島大学医学部卒業
2004 年 徳島大学大学院卒業
2008 年 フロリダ大学留学
2009 年 昭和大学横浜市北部病院消化器センター
2024 年 昭和大学横浜市北部病院消化器センター診療科長
5. 私は消化管の手術, 特にロボット手術に従事しておりますが, oncology を学ぶ環境作りも必要と常々思っております。
学会発表, 論文発表を若い先生方が自発的に出来るよう, 学会の発展に尽力したいと思います。
6. 新任

1. 津川浩一郎 2. 1963/2/22
3. 聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科学
4. 1987 年金沢大医学部卒業, 同大第二外科入局. 1993 年金沢大大学院修了. 1997 年金沢大病院助手. 2005 年聖路加国際病院乳腺外科. 2010 年から現在聖マリアンナ医科大学乳腺・内分泌外科学主任教授.
5. 乳癌を中心とした乳腺・内分泌外科領域の診療・研究・教育に日々奮闘しております。最近では若手外科医の発掘および育成に注力しています。日本の外科診療の未来と日本外科学会の発展のため, 粉骨砕身努力いたします。
6. 現職

1. 長 泰則 2. 1965/6/25
3. 東海大学医学部付属病院
4. 1990 慶應義塾大学医学部卒
1996 同 心臓血管外科チーフレジデント
2000 Monaco Cardio-Thoracic Center
2009 東海大学医学部 心臓血管外科 准教授
2015 教授
5. 主に後天性心臓・大血管疾患の手術(特に虚血性心筋症に対する左室形成術・僧帽弁手術)に従事。将来の日本外科学会を担う若手外科医育成の為, 専攻医研修制度の充実, 医療安全に尽力したいと思います。
6. 現職

1. 増田 良太 2. 1972/12/19
3. 東海大学医学部医学科外科学系呼吸器外科学
4. 1999 年東海大学医学部医学科卒業。現職；東海大学医学部外科学系呼吸器外科学教授。東海大学医学部メディカルサイエンスカレッジ（伊勢原教育計画センター）副センター長。日本外科学会 e ラーニング委員
5. 呼吸器外科を主体に地域の医療連携と後輩の教育指導に尽力してきました。引き続き、臨床研修医のみならず医学部生に外科学の魅力を伝えていくことで本学会の繁栄に貢献していく所存です。
6. 現職

1. 秋山 浩利 2. 1962/9/2
3. 横浜市立大学消化器・腫瘍外科学
4. 1988 年札幌医科大学卒
1990 年横浜市立大学第二外科入局
1998 年横浜市立大学消化器・腫瘍外科学助手
2000 年同講師
2007 年同准教授
2017 年横浜市立大学附属病院消化器外科診療教授
5. 医学生, 初期研修医の教育および外科医の働き方改革に尽力するとともに, 外科医不足を解消し日本外科学会の発展にも貢献していきたい。
6. 現職

1. 隈元 雄介 2. 1966/1/10
3. 北里大学病院
4. 1990 年慶應義塾大学医学部卒業, 川崎市立川崎病院等を経て, 2000 年医学博士取得しドイツへ留学, 2010 年より北里大学へ赴任, 2019 年北里大学一般小児肝胆膵外科教授, 2024 年北里大学病院副院長.
5. 深刻化する外科医減少を克服するため, 魅力ある教育と安心安全な職場環境の確立に尽力し, 次世代を担う外科医の育成を行い, 教育・研究・臨床を通じて外科医療と日本外科学会の更なる発展に貢献したいと考えます.
6. 現職

1. 山本聖一郎 2. 1964/10/11
3. 東海大学医学部
4. 1991 年 3 月慶應義塾大学医学部卒業
1991 年 4 月慶應義塾大学一般消化器外科
2001 年 6 月国立がん研究センター中央病院
2013 年 3 月平塚市民病院消化器
2019 年 4 月東海大学消化器外科下部消化管領域教授
5. これまで本学会の代議員を 6 年間勤めさせていただいております. 引き続き, 日本外科学会の皆様と共に本学会, 学会員の皆様のご発展に少しでも貢献できればと考えております.
6. 現職

1. 岡田 健一 2. 1972/1/21
3. 東海大学医学部附属病院
4. 2000 年東海大学医学部卒業. 2002 年同消化器外科入局後関連施設に勤務. 2005 年東海大学消化器外科助教, 2010 年和歌山県立医科大学外科学第二講座学内助教, 2013 年同助教, 2015 年同講師
5. 代議員としての活動を通して, 神奈川県そして日本の外科学の発展のために微力ながら貢献する所存です. また外科医の労働環境を改善し, 質の高い外科医療が日本で展開できるように尽力したいと思います.
6. 新任

1. 比企 直樹 2. 1962/12/15
3. 北里大学医学部大学院医療系研究科
4. 北里大学医学部卒業
東京大学医学部大学院修了
2019 年 1 月 北里大学医学部上部消化管外科学 主任教授
2022 年 4 月 北里大学病院 栄養部部長
2024 年 7 月 北里大学医学部大学院医療系研究科科長
5. 外科医不足の克服には自助努力が不可欠です. 若手が魅力を感じる外科と働きやすい環境と先の見える明確なキャリアを提示し, 同時に, 多すぎる学会を集約して学術活動を効率化し, 持続的発展に貢献していきます.
6. 現職

1. 佐藤 道夫 2. 1961/9/9
3. 国際親善総合病院
4. 1987 年 3 月 慶應義塾大学医学部卒業, 同外科学教室入局
1999 年 7 月 米国 MGH へ留学
2008 年 6 月 東京歯科大学市川総合病院外科准教授
2018 年 4 月 国際親善総合病院 副院長
5. 前回に引き続き, 外科学会員として 40 年のキャリアをいかして, 外科医の働き方改革, 医師のライフステージの問題, 若手の教育, 地域の外科学の発展等に貢献していきたいと思います.
6. 現職

1. 小柳 和夫 2. 1967/7/12
3. 東海大学医学部消化器外科
4. 上部消化管疾患に対する低侵襲外科手術の臨床と研究に従事してきました. 本学会の英文誌編集委員会委員, 専門医制度委員会委員, 日本癌治療学会, 日本食道学会, 日本胸部外科学会の理事を務めています.
5. これまでの経験を活かして, 微力ですが日本外科学会に貢献したいと考えています. 本邦の外科手術に関する情報発信, 外科医の働き方改革, 若手医師のリクルートなど, 喫緊の課題に取り組みたいと考えています.
6. 現職

1. 菅沼 伸康 2. 1971/8/19
3. 横浜市立大学附属病院
4. 1998 年 横浜市立大学卒業
2000 年 横浜市立大学第 1 外科入局
2007 年 神奈川県立がんセンター乳腺甲状腺外科
2020 年 横浜市立大学乳腺甲状腺外科講師
2025 年 同准教授
5. 乳腺・内分泌外科の診療や研究を通じて、外科学の進歩と社会への貢献、次世代外科医の育成に尽力し、学会の発展に努めてまいります。
6. 現職

1. 民上 真也 2. 1966/11/13
3. 聖マリアンナ医科大学 消化器・一般外科
4. 1992 年 聖マリアンナ医科大学医学部卒業
1992 年 聖マリアンナ医科大学 第 1 外科入局
2016 年 聖マリアンナ医科大学 消化器一般外科 准教授
2023 年 同 教授
2025 年 同 主任教授
5. 当施設の外科専門研修プログラムに携わり、外科医の育成に努めております。医師の働き方改革のシステム構築により外科医不足の抑止に取り組んで参ります。日本外科学会の発展に微力ながら尽力させていただきます。
6. 現職

1. 古田 繁行 2. 1970/4/8
3. 聖マリアンナ医科大学 小児外科
4. 1996 年 3 月 聖マリアンナ医科大学医学部医学科卒業
2022 年 4 月 聖マリアンナ医科大学小児外科学主任教授
5. 日本の外科医療に貢献できるよう尽力いたします。
6. 新任

1. 湯川 寛夫 2. 1967/8/31
3. 横浜市立大学附属病院
4. 平成 4 年浜松医科大学卒業。平成 6 年横浜市立大学第一外科入局。平成 19 年消化器・一般外科准教授。上部消化管を中心に消化器全般を担当しております。
5. 教室でも外科専門プログラムを担当しており、若手教育、外科志望の学生への啓蒙にも努めてまいります。
6. 現職

1. 松山 隆生 2. 1971/7/10
3. 横浜市立大学医学部 消化器・腫瘍外科学
4. 1998 年愛媛大学医学部卒後、横浜市立大学第二外科入局。関連施設勤務を経て 2007 年医学博士取得。助教、講師を経て 2017 年より同大学消化器・腫瘍外科学准教授。肝胆膵外科を専門に診療・教育・研究従事。
5. 肝胆膵外科の診療・教育に携わってきましたが、外科医減少は地域医療や診療に深刻な影響を及ぼすと危惧しています。代議員として診療の持続性確保と若手外科医育成に努め、外科臨床の基盤を守るため尽力いたします。
6. 新任